

のうきよう ちがしづ

'90 **11**

No.191



シリーズ私の趣味No.37

四輪のスリルに満喫

●小川 征彦

コミュニティコラム みんな・なかま

4

営農技術

高泌乳をささえる飼料添加物

●北根室地区農業改良普及所

6

わが家の人気者

お姉ちゃんを迎えに出動

●中浦 健雄

8

役員研修視察報告

農協の財務状況

理事会の経過／地区別懇談会

全道共進会10頭入賞

力強い将来の後継者 中標津ジュニアホルスタインクラブ

アメリカ・カナダ視察研修に参加して

●土井上昭男

生乳生産量伸び悩む!

暮らしの知恵袋

畑から来た救世主はじやがいも

●北根室地区農業改良普及所

●篠永 栄

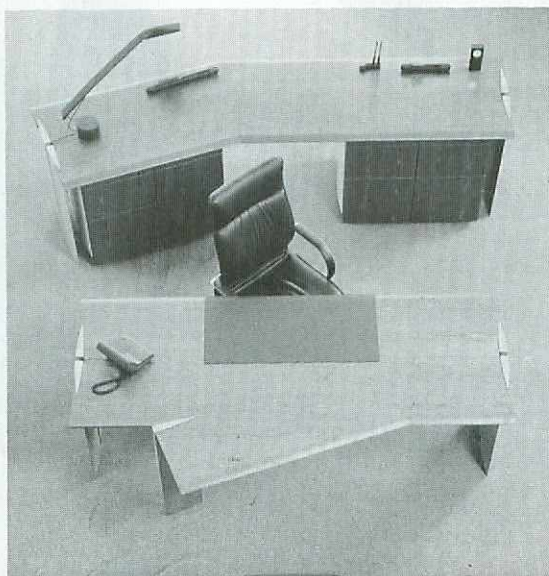
22

府県消流地視察研修報告

23

今月のフォトアルバム

24



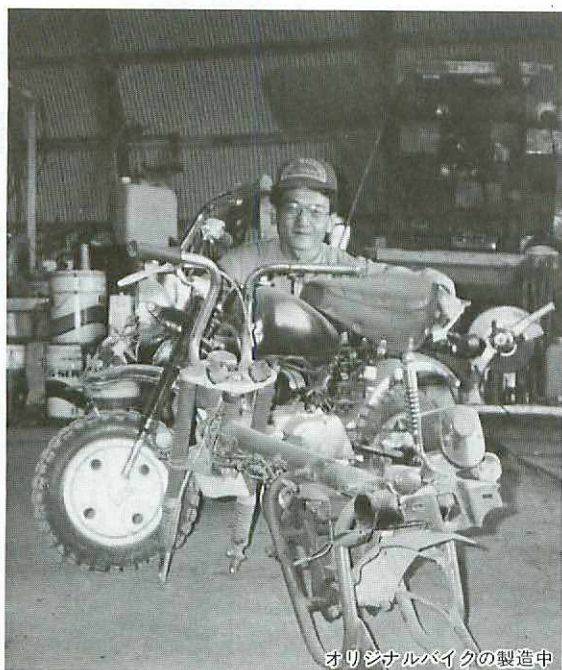
人は環境によって形成される。既在の概念にとらわれない卓抜な発想、時代に先駆ける新鮮なプランを醸成するのは、オフィスという名の自由な空間にほかならない。

フランスの工業デザイナー、アラン・カレデザインによる独創的なイメージから始まる新・環境美学。個性が主張できるオフィスの台頭が、新しいビジネスシーンを切り拓いていく。

私の趣味

37

豊岡 小川 征彦 さん(28歳)



オリジナルバイクの製造中

四輪のスリルに満喫

四輪バイクを手にしたのは今年の五月、雑誌を見ているうちに欲しくてたまらなくなり、ついに購入。バギー車を小さくしたボデーに、太いキヤラメルタイヤ四本がガツチリと組まさり、どこでも走れそうな感じに魅かれたという。また、同じ豊岡の今井さん、武田さんも持つっており、それにも刺激されたかな…?と小川さん。

このバイクはヤマハYF100 M、ちよつとパワー不足だけドワイリーや、カーブでの二輪走行など、二輪車のモトクロスでは味わえないスリル感があるそうです。バイクは高校時代から好きだったのですが、乗るのも楽しいがバイクを改造して作るのも楽しいと、現在もあちこちから集めた、動かないバイク数台で、一台のバイクを製造中。暇をみつけてはコツコツとやっているようで、来年

釣りの実力
豊岡 No.1



の春までには完成させ、オリジナルバイクでツーリングを楽しみたいとの事。

もう一つの趣味は海釣りです、学校時代は川釣りが専門で海釣りに行った事がなかったそうですが豊岡地区の海釣り大会に初めて参加し、一等賞になったのがきっかけ、それからというもの、カレイ、コマイシーズンになると友達と毎晩のように標津、野付、尾岱沼に出かけ、夜中二時頃まで釣りを楽しんでるそうです。

今年も大会で大物賞を二回も獲得し満足顔。ちまたの噂では、「釣り大会荒らしの征彦」と一躍有名になったようです。本人いわく「最

初はまぐれだと思ったけど、三回も続くとこれは実力かな?」なんて思いはじめてるみたいです。

バイク、釣りが主な趣味ですが、今年の冬はスノーモービルに挑戦しようと、機種の設定をしているところで、広い雪原を走り、冬山登りな



ど、色々と計画しているようです。仕事、趣味、青年部活動に忙しい毎日の小川さんも竜樹君(三歳)と竜太君(一歳八ヶ月)の優しいお父さん。一緒にブランコに乗ったり、四輪バイクで遊んであげたりいつも笑顔の絶えない征彦さんです。

なかま

仲間・はなし



毎日失敗と 驚きの連続

埼玉県 熊坂 晃子

私の場合、農業実習生という制度があることすら知らず、ただ興味半分で酪農をやってみたいと思ったことが始まりだった。思いついたらすぐやってみたくなるこの性格のおかげで中標津行きが実現した。特別に、これといって目的があつたわけでもなく、酪農体験も全くない私だったので、不安の方が大きかつたのも事実だし、まわりの人からも一ヶ月ももたないだろうといわれた。私自身ダメだつたら帰ろうと思つていた。しかし、新聞に記事がでたりして、こうなつたら一ヶ月位は頑張らなくてはいけないのではと思つてしまつた。

わからないことだらけで、毎日失敗と驚きの連続だったが、それなりに楽しかつた。牛つて想像以上に大きくて、ただでさえ背の低

い私は、牛と並ぶと反対側が見えなくなる仕末。牛に足をふまれたり、けられたり、手に豆をつくつたり、いろいろなあつたけど、私の好きな牛乳やチーズやバターが、ここからこうやって出ていくのかと考えるだけでも楽しかつた。まわりの人にとっては、わけのわからない私がウロウロしていて、多大な迷惑をかけてしまつたが、私自身にとっては、貴重な体験だつたと思う。

今が一番忙しい時期だからといわれて来たはずなのに、私が来た日には草刈りは終つていて、ほとんど牛の世話が多く、時間をつくつてはいろいろな所へ観光にもつれていってもらい、昼寝は出来るし、私はここに何をしに来たのだろうと考えたこともあつた。

でも、私が考えていた酪農と違つていたのも確かだ。朝が早いというのも、私が起きれる範囲の早さだし、夏は特に、早く起きると気持ちが良いので、少し得したような気になるから不思議だ。

きれいな仕事だとは思わないが、

慣れてしまえばどうということはない。想像以上に合理的で驚いた面もある。

人間関係に神経をピリピリさせている都会の生活に比べれば、天と地ほどはるかにのんびりしている。大自然の中でおいしい空気を吸つて、おいしい物食べて、のんびりして、良いことづくめのようで、私が一番困つたことは、



かわいいうぶどうがおいしい目ノ

みんな、

仲間・はなし



デブになること。これ以上は太りたくない。ただでさえ、太めのこの身体なのだから、こんな生活を十年も続けたら、小錦のようになっってしまうかもしれない。

普段から「変わり者」と呼ばれている私は、ここ中標津でも変わり者だったのではないだろうか。いろいろな人に迷惑かけて、心配かけて、役にも立たずに、お手数かけてすみませんでした。いろいろお世話になり、本当にありがとうございました。

来年の夏、また私の姿を見ても、また来たのといやな顔しないで下さいね。

とても 楽しかった札幌

下山 優子

私は十月十三、十四日に札幌への全道共進会に行きました。初めての飛行機、初めての札幌で、わくわくどきどきでした。

行った日は、会場を見たり、友達と遊んだり楽しかった。公民館でお弁当を食べ、少し勉強して、



それから大人の人達と、牛とかを見に行きました。牛を品評会に出すのは、とてもすごい大変な事のように思えました。

それは、毛刈りをしたり、病気にならないように、ふだんから気をつけたり、それに十四日は雨がふっていたので雨にぬれて毛がびしょびしょにならないように毛布でかさのかわりをしたり、牛におとなしく歩く練習をさせているようにも見えたし、なによりもいい牛をつくるには、その牛だけでなく、おばあさん牛、それより前くらいから、いい牛を育てているみたいでした。だから全道大会とか賞に入ると、とてもいいことなんだなあと思いました。

みんなでおふろに行きました。おふろに入っておしゃべりしながら、友達といっしょにねました。二日目は、ジャックソングコンテストをしました。私の友達に賞をもらいましたが、私はだめでした。でも今度は、私も牛の事を良くわかる様に勉強しようと思えました。

私は、こんな大会に行けて本当によかったなあと思いました。でもせっかくなので行けたのだから、もう少しチョコ、チョコしないで牛を良く見て、お父さんや、お母さんにどんな牛がいい牛なのか、おしえてあげればよかったなあ。とてもたのしかった二日間でした。

高泌乳をさせえる

飼料添加物



一、飼料添加物を利用する前に
 一頭当りの乳量が増加するに従い、第一胃及び代謝機能の管理が問題となってきています。それに伴い種々の飼料添加物が出まわってきています。

飼料添加物は「特效薬」である

と決めつけず、添加物を利用する前にまず粗飼料分析を実施し、給与飼料のエネルギー、蛋白質、繊維、ミネラル等のバランスがどうかということ、飼料給与法が適切であるかということを検査し、添加物が必要なのかどうかを検討して下さい。

二、添加物の利用方法

- (一)ルーメン(第一胃)発酵の調節剤
- 重炭酸ナトリウム(重そう)

作用

ルーメンのPHを正常に維持し繊維分解菌の増殖を促進し、乳量乳脂肪率を高めます。また、微生物の増殖が活発になり、微



生物蛋白質の合成が促進されます。

添加物

一日一頭当り二〇〇g前後で、全飼料乾物中〇・八〜一・五%程度使用条件

泌乳初期、特に食滞が起こりやすいとき。濃厚飼料の給与量が多いとき。

(二)肝機能の強化剤

- バイパスメチオニン

作用

ルーメンにおいて、プロトゾアや繊維分解菌の増殖を促進し、酢酸生成を増加させます。

肝機能を高め、脂質代謝を改善するなどにより乳脂肪率の向上が期

知っておきたい

税の知識

税を知る週間

国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、いろいろな活動を行なっています。例えば、私たちの身近な暮らしを見ても社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育の振興など、その活動は幅広い分野にわたっています。

税はこのように国や地方公共団体が活動するための大切な財源であり、私たちが生活の向上と安定を願う限りどうしても負担しなければならぬ、共同社会を維持するためのいわば会費であるといえます。

そこで国税庁では「この社会あなたの税がいきている」をスローガンに今年も十一月十一日から十七日までの期間を「税を知る週間」としました。今年には特に「暮らしを支える

待てきます。

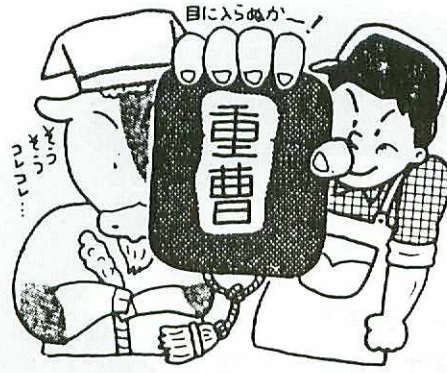
直接蛋白質の原料となり、乳蛋白質率を高めます。

— 添加量 —

メチオニンとして、一日一頭当り十五〜二十五g

— 使用条件 —

低乳脂率、あるいは低無脂固形



分率のとき。

泌乳初期

濃厚飼料が多く、繊維含量が不足するとき。

肥満牛

○パントテン酸

— 作用 —

肝臓や副腎機能を改善し、抗病

性を増進することにより、間接的に乳房炎を減少させます。

— 添加量 —

一日一頭当り二〇〜一〇〇g

— 使用条件 —

分娩前三〇日〜分娩後四〇日ま

乳成分と乳質をアップする

作用	添加物
乳脂率アップ	重曹、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム、硫酸マグネシウム、油脂、メチオニン、コリン、ナイアシン、酵母、乳酸菌、イソ酸
無脂固形分率アップ	ナイアシン、メチオニン
乳房炎、体細胞数の減少	ビタミンA、ベータカロチン、パントテン酸、亜鉛メチオニン

で

肥満牛

ストレスを受けているとき

(B) ビタミン類

○ナイアシン (ニコチン酸)

— 作用 —

ビタミンB群の一つであり、蛋白質・炭水化物・脂肪の代謝に関与しています。一般にナイアシンは飼料から摂取され、さらにルーメン微生物によって合成されますが、高泌乳牛の泌乳前期において不足することが知られています。効果としては次の通りです。

ケトシスの予防

ルーメンにおける微生物蛋白質の合成促進。

乳量・乳脂率・乳蛋白質率の向上。

— 添加量 —

一日一頭当り六〜十二g

— 使用条件 —

高泌乳牛 (一日乳量三十八kg以上の成牛、二十七kg以上の初産牛)

泌乳初期

ケトシスの多い牛群

肥満牛

油脂を添加したとき

「税」をテーマに広く国民の皆様様に税の意義や役割を正しく理解し、考えていただけるよう全国的に次のような行事等を幅広く行ないました。

〈説明会、講演会等の開催〉

サラリーマンや主婦、児童・生徒などを対象とした「租税教室」を開催したり、一般納税者を対象とした税に対する説明会や講演会を開催します。

〈座談会などの開催〉

国税庁や国税局及び税務署の幹部が新聞やテレビ、ラジオなどの座談会や対談に出席し、国民の皆さんから税に関するご意見を承ります。

〈税に関する資料の展示〉

国民一人一人が税の仕組みや使いみちを知ることによって、税を身近なものとして考えていただけるように全国各地のデパートや繁華街などで税に関する資料を展示します。

〈税務相談〉

デパートや市役所、町村役場などで臨時の税務相談所を開設し、相談に応じます。

わが家の人気者!

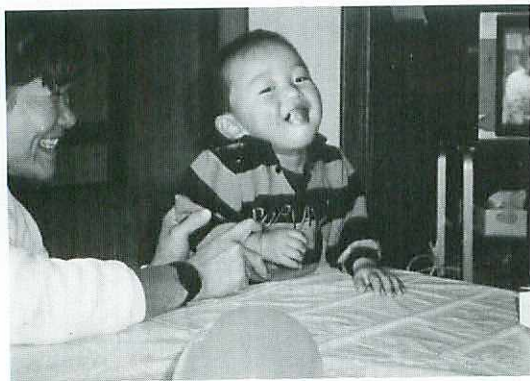
お姉ちゃん
を迎えに
出動!!

南中地区
櫻井 幸一・百子さんご夫妻
長男 規生くん(1歳7か月)



南中地区の櫻井規生君ことのおち君は、只今一歳七か月のやんちゃっ子。のっち君の毎日のお仕事は、二番目のお姉ちゃん寛子ちゃん(四歳)の幼稚園の送り迎え。といっても運転手はおじいちゃん誠造さんですが「よし、規生行くぞ」という誠造さんの一声で遊びの途中でも、お昼寝の途中でもムクツと起き上がって出動開始。助手席でしっかりナビゲーターを務めます。

生後十か月でもう歩き出すよう



おかあさんのお菓子いただき〜

近はもう転ばなくなったのよ」とお母さんの百子さん。また、最近では言葉もはっきりしてきたそう

になった規生君ですが、「早く歩けるようになつたから、走るの早いかな」と思ったら、そうでもないみたい。転ぶ時はいつも必ず頭からで頭が傷だらけ、まるでプロレスラーのブツチャーみたいだねって笑ってたんだけど、最

で、子供の成長ぶりに喜びを隠せない様子。

規生君のお得意は、お父さんの手のひらのりり。伸ばした腕の手のひらにしっかり乗っちゃう。お父さんの腕力もすごいけど、手のひらの上でしっかりパランスをとる規生君もなかなかのもの。

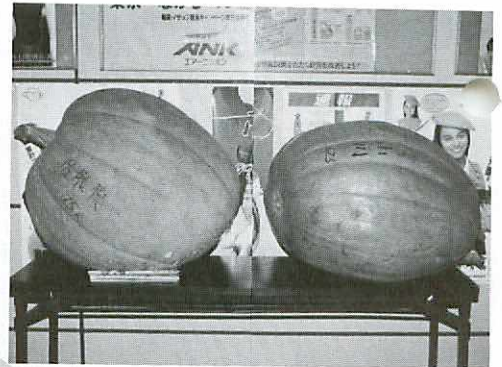
そんな規生君に「人に迷惑をかけない、素直な子に育ってほしいわ」と優しく語るお母さんでした。



メガネをかかければ、おんとリトル幸一

巨大カボチャ出現

中標津地区では、十月二十三日初のカボチャ祭りを行ないました。写真のカボチャは、三十五個出品された中で的一位（佐藤真一さん七十五kg）、二位（小川征彦さん六十七・五kg）の作品です。このカボチャは、「アトランチックジャイアント」と言い、北アメリカ原産の種を育てたものだそうです。



来年は100kg以上が登場するかも

今回、事務所玄関に展示していただいたところ、通りかかる人みんなびっくり、チビっ子は、さわります。つたり、たたいてみたり、注目を浴びています。

念願の名馬射止める

農水省家畜改良センター十勝牧場生産馬の有償譲渡抽選会が、十月二十五日行なわれ、十四人の希望者の中から俣落の藤田誠一さんが、みごと当りくじを射止めました。

譲渡される馬はブルトン種（雌）の溪動という名前で、平成二年三月六日生です。馬好きの藤田さん、馬事振興のため、また十三人のくじに外れた方の分まで「溪動」をりっぱに育てて下さい。



きっとこれが当りくじだノ

話題の交差点

中標津町農協産牛乳を東京都内で販売!!

中標津町農協地区内から生産された牛乳が、平成二年七月より、日量五十トン、ホクレン中春別クレーを経由し、飲用乳として道外に送られております。

送られた牛乳の一部分ですが、北海道三・六牛乳と銘柄を表し、東京都内で市販されて

ましたので紹介いたします。

商品名 北海道三・六生乳

無脂乳固形分

八・五%以上

乳脂肪分

三・六%以上

製造者 トモエ乳業株式会社

製造所在地 茨城県古河市（こ

が）内容量一、〇〇〇mlのカート

ンに、はまなすの香る知床の大自然に恵まれた北海道中標津地区、

ここは、日本一の生産量を誇る酪

農地帯です。はるか地平線まで牧

草が続く自然豊かな中標津でしぼ

られた良質な生乳を殺菌、パック

した、風味豊かなおいしい牛乳で

す。

北海道の自然の味わいをお楽し

みください”と記載されております。



今回の研修視察は、肉素牛（乳雄牛、経産牛）を北海道より導入している熊本県、阿蘇郡南小国町、井上畜産、南牧場の肉牛経営と平成三年四月、牛肉の輸入自由化を目前にしているものの、畜産生産のなかで肉用牛のウエートはますます高まりつつあることから、大阪市食肉市場（株）の視察が中心となった。

牛肉輸入自由化と畜産

役員研修視察報告

理事 中浦 健雄

井上畜産、南牧場

阿蘇の外輪山に鉄骨、スレート、トタン張りの畜舎が二十六棟、ホルスタイン種（雄去勢牛、未經産牛、経産牛）を主体に黒毛和種、褐毛和種、マリグレイ（オーストラリア産）、馬（重半血、中半血六十頭）の肥育、飼養総頭数は六千頭、使用人は十三人、給餌車は四トンダンプの中古車を改造、二台所有、配合飼料は自家配合で九州フタバ飼料（株）飼料工場を経営しており、ビール粕を主体にしている。その配合飼料の成分内容については、企業秘密で聞くことができなかった。肥育牛の販売は、生体販売で生体重七二十〜七三十キ、単価七八十〜八〇〇円、一頭当り

五十六万二千〜五十八万四千円、

（牛枝肉取引規格三等級以上七十%）となるが、ホル経産牛六〇〇頭在畜し、価格の低落と販路がなく生体重一トン以上となり、経営を圧迫していることは根室地域とも共通の悩みである。ホル肉素牛の導入は、北海道、特に根室、釧路、十勝管内であるが、素牛の不揃いで事故率が高く、評価はゼスチャームもあることだが良くなかった。現在の肉素牛の導入は、大阪より初生犢を毎月五十頭導入し哺育、育成、肥育の一貫肥育と近隣の県産肉素牛の導入、オーストラリア産交雑種、マリグレイ、生体三〇〇キ輸入しているが十、十一月には北海道に肉素牛の買入れにきたいとの話でした。昨年は六億円



4tダンプ改造の給飼車

程の剰余金を出したが、今年はトントンに行けばヨカバイ、ハッハッハ」とのことでした。経営で注目した点は経験に基づいた個体販売、安い価格の配合飼料、十三人の雇用人で六千頭を管理していることであろう。

大阪市食肉市場（株）

昭和五十四年津守にあった大阪市食肉市場（株）を、住之江区南港南に移転したので、最新技術とシステムによる豊富な施設と機能が完備され、食肉流通のニューエイジを拓かれています。

と畜、牛四万八千八百頭、豚十七万頭、牛のと畜の内ホル乳雄牛

一万四千六百頭、牛枝肉の取引は温と体から冷と体取引に流通体系が変わり、解体処理された枝肉は一旦冷却、冷蔵庫に保管され、せりの当日、冷却された枝肉は冷房装置の完備した卸売場において、せり上場されるので、大阪観測所始まって以来、真夏日三十度以上が連日六十八日目とのことでしたが、せり上場は肌寒い状況です。せりは、自動せり機で公正に行なわれ、電光掲示板に種別、性別、規格、産地、重量、上場番号が表示され、せりボタンによりキロ当り単価がせり上げで決定いたします。黒毛和種牛（去勢、メス）乳雄牛（去勢）がせり中で、ホル乳雄牛は北海道、湧別町農協が栃木県で肥育した肥育牛で、最高はB4千八百円、最低はC2千六十一円、和牛の最高はA5二千六百元、価格でもB4等級以上が堅調でした。大阪市食肉市場（株）視察後、ホクレン大阪支店、関西の酪農、畜産を研修する。

ホクレン大阪支店酪農畜産課生乳生産状況（西日本）

元年産生乳は、前年比一〇四・三%、伸びる県と停滞する県がはっきりしてきているが、今年の夏は猛暑により乳牛の事故と乳牛の体力低下によって、生産は前年比九

平成2年産 畑作物 価格決まる

テンサイ4%バレイシヨでんぷん3.6%引き下げ

大豆、テンサイ、馬鈴しよでんぷんなど、平成2年産の畑作物価格が決定しました。畑作物価格は、新ラント農業交渉への影響や、小麦の引き下げ幅とのバランスを踏まえ、引き下げ幅をわずかに圧縮する形で引き下げが決定しました。テンサイは、原料糖対策費を制度発足直後ということから据え置いたものの、最低生産者価格をトン730円下げ、17,530円に。これを合わせた生産者手取りはトン17,720円と前年比4.0%の引き下げとなりました。

2年産畑作物の決定価格

		2年産(円)	元年産(円)	対前年比(%)
テンサイ (ト)	最低生産者価格	17,530	18,260	
	原料糖対策費	190	190	
	農家手取り	17,720	18,450	▲730円△4.0
テンサイ糖事業団買入価格		188,222	194,176	△3.1
馬鈴薯 (シ)	原料基準価格	14,600	15,300	△4.6
	馬鈴薯澱粉買入基準価格	118,563	123,003	▲4,440円△3.6
	澱粉1袋当り(25kg)	2,964	3,075	△111円

平成2年度でん菜の最低生産者価格

糖度 (度)	最低生産者 価格(円/t)	糖度 (度)	最低生産者 価格(円/t)	糖度 (度)	最低生産者 価格(円/t)
	+210				
13.5	13,190	16.0	16,690	18.5	19,770
13.6	13,330	16.1	16,830	18.6	19,910
13.7	13,470	16.2	16,970	18.7	20,050
13.8	13,610	16.3	17,110	18.8	20,190
13.9	13,750	16.4	17,250	18.9	20,330
14.0	13,890	16.5	17,390	19.0	20,470
14.1	14,030	16.6	17,530	19.1	20,610
14.2	14,170	16.7	17,530	19.2	20,750
14.3	14,310	16.8	17,530	19.3	20,890
14.4	14,450	16.9	17,530	19.4	21,030
14.5	14,590	17.0	17,670	19.5	21,170
14.6	14,730	17.1	17,810	19.6	21,310
14.7	14,870	17.2	17,950	19.7	21,450
14.8	15,010	17.3	18,090	19.8	21,590
14.9	15,150	17.4	18,230	19.9	21,730
15.0	15,290	17.5	18,370	20.0	21,870
15.1	15,430	17.6	18,510		
15.2	15,570	17.7	18,650		+70
15.3	15,710	17.8	18,790		
15.4	15,850	17.9	18,930		
15.5	15,990	18.0	19,070		
15.6	16,130	18.1	19,210		
15.7	16,270	18.2	19,350		
15.8	16,410	18.3	19,490		
15.9	16,550	18.4	19,630		

(注) 基準糖分帯は16.6度から16.9度までとし、これ以外のものについては0.1度につき140円増減させる。

十二%、乳牛に事故があっても補充しない、また太平洋ベルト地帯は、求人難で特に若い人の就業率は悪く、府県が都市化される中で北海道は生乳の供給基地の可能性がある。乳質規制は、脂肪三・六%、無脂乳固形分八・四%、細菌数、体細胞数各三十万が基本となり、基準に合わない場合スライド乳価でなく、大巾なベナルティ、または受入拒否と厳しい規制により、乳質の向上は著しく、乳成分

は高くなっている。北海道の生乳と、地元産生乳のブレンド販売はないようです。
○牛肉 大阪南港、乳雄去勢、B3千二百円、B2九百五十円、輸入自由化決定後、元年までほとんど下げは見られなかったが、四月以降特に並物を中心に急落している。上物でなければ売れない。
○乳廃牛 廃牛枝肉と経産肥育牛は、輸入牛肉の在庫量が畜産事業団、民間在庫とも大量に抱えたま

まで競合するため、大巾に下落し輸入牛肉の動向が気になってくる。
○素牛 輸入自由化への思惑や枝肉相場の下落の影響もあり、四月以降、荷動きの停滞と共に、相場が下がり予断を許さない情勢が続いている。来年四月の牛肉自由化を前にスーパー、商社、外食産業などが、いろんな対策をたてていること、というのが、酪農への影響力は牛肉自由化が実現したら老廃牛は安くなる、子牛が安くなる、といわ

れますが、国内牛肉の七十%がホルスタイン種で占められている現在、酪農の消長は牛肉の将来を支えます。良質の定期定量の牛肉が生産されれば、ホル雄の肥育素牛としての価値も高く評価され、酪農家側にとっては大変有利な材料となります。以上もって役員研修視察報告とします。

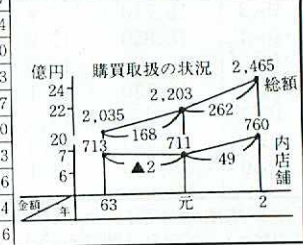
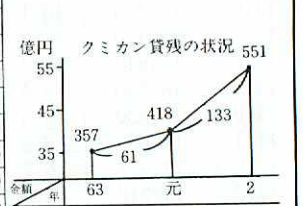
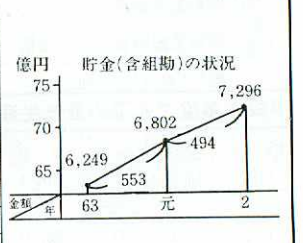
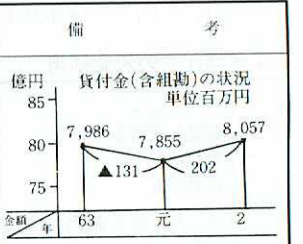
農協の財務状況

九月末の農協財務について、別表により前年対比でお知らせします。

- **貸付金** 受託資金は減少しましたが、短期、長期貸付金が伸び前年に対して二億二百万円増加しております。
- **クミカン** 家畜価格の下落、飼料など資材の値上りの影響が大きくなり一億三千三百万円増加しております。
- **貯金** 高金利時代を迎えたこともあり、また皆様のご協力により四億九千四百万円増加しております。
- **販売事業** 生乳生産が伸びず、家畜個体価格が下落したことで一億五千万円減少しております。
- **購買事業** 燃料と一般資材で取扱いが伸び、前年同期より二億一千三百万円増加しております。
- **生活店舗** 前年度、春先店舗の改装があつて横ばいの状況でしたが、本年は四千九百万円増加しております。今後ともよろしくご協力をお願いします。

財務状況前年対比表

勘定科目	1年9月末		2年9月末		当年度-前年度	進捗率 当年度/前年度	備考
	金額	構成比	金額	構成比			
資事業資産	現金	19,058,416	0.2	19,685,058	0.2	626,642	103.3
	預金	4,854,959,736	44.6	5,239,606,710	47.0	384,646,974	107.9
	有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	短期貸付金	116,457,582	1.1	190,555,005	1.7	74,097,423	163.6
	長期貸付金	2,547,922,284	23.6	2,687,459,928	24.2	139,537,644	105.5
	受託支払資金	4,772,280,910		4,628,004,222		-144,276,688	97.0
	組合員勘定借方残	418,748,163	3.9	551,307,076	5.0	132,558,913	131.7
	偶発債務見返	170,932,400	1.6	206,477,700	1.9	35,545,300	120.8
	金融雑資産	2,000	0.0	0	0.0	-2,000	0.0
	計	12,900,361,491	75.0	13,523,095,699	80.0	622,734,208	104.8
経済事業資産	経済事業債権	662,110,442	6.1	437,924,790	3.9	-224,185,652	66.1
	その他事業債権	39,396,354	0.4	557,120	0.0	-38,839,234	1.4
	棚卸資産	753,127,892	7.0	512,751,236	4.6	-240,376,656	68.1
	特別会計借勘定	17,423,540	0.2	48,356,266	0.4	30,932,726	277.5
	計	1,472,058,228	13.7	999,589,412	8.9	-472,468,816	67.9
その他資産・固定資産	雑資産	224,705,872	2.1	228,956,048	2.1	4,250,176	101.9
	経過資産	67,417	0.0	106,983	0.0	39,566	158.7
	本支所勘定	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	固定資産	674,761,404	6.2	671,013,620	6.0	-3,747,784	99.4
	繰延資産	21,060,732	0.2	17,304,827	0.2	-3,755,905	82.2
	外部出資	297,618,500	2.8	312,648,500	2.8	15,030,000	105.1
計	1,218,213,925	11.3	1,230,029,978	11.1	11,816,053	101.0	
合計	15,590,633,644	100.0	15,752,715,089	100.0	162,081,445	101.0	
負債	貯金	6,456,850,573	59.7	7,096,057,838	63.3	639,207,265	109.9
	組合員勘定貸方残	345,612,745	3.2	199,954,864	1.8	-145,657,881	57.9
	短期借入金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	長期借入金	1,171,652,530	10.9	1,151,943,926	10.3	-19,708,604	98.3
	受託受入資金	4,772,280,910		4,628,004,222		-144,276,688	97.0
	偶発債務	170,932,400	1.6	206,477,700	1.8	35,545,300	120.8
	共済資金	73,166,784	0.7	73,434,748	0.7	267,964	100.4
	金融雑負債	15,085,105	0.1	15,930,084	0.1	844,979	105.6
	計	13,005,581,047	76.2	13,371,803,382	78.0	366,222,335	102.8
	事業債務	796,631,557	7.4	587,536,581	5.3	-209,094,976	73.8
その他事業債務	4,752,000	0.0	6,734,000	0.1	1,982,000	141.7	
経済事業借入金	104,244,699	1.0	86,973,406	0.8	-17,271,293	83.4	
特別会計貸勘定	-3,054	0.0	283,839	0.0	286,893	-9,294.0	
計	905,625,202	8.4	681,527,826	6.2	-224,097,376	75.3	
その他負債・自己資本	雑負債	93,689,760	0.9	118,729,068	1.1	25,039,308	126.7
	経過負債	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	諸引当金	544,132,684	5.0	589,031,122	5.3	44,898,438	108.3
	自己資本	1,021,058,907	9.5	1,057,430,138	9.4	36,371,231	103.6
計	1,658,881,351	15.4	1,765,190,328	15.8	106,308,977	106.4	
合計	15,570,087,600	100.0	15,818,521,536	100.0	248,433,936	101.6	



理事会

の経過

第八回理事会

開催日時 十月二十三日

開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、平成元年度産共計澱粉精算について、一袋当り三、二六〇円
 - 二、平成二年度九月末損益統制計画について
 - 三、土地の賃貸について
 - 四、各種資金の借入申込について
 - 五、根室管内農業賞候補者の推薦について
 - 六、澱粉工場沈澱池について
各議案が審議され決まりました。
- #### 〈協議事項〉
- 一、地区別懇談会の経過について
- #### 〈報告事項〉
- 一、畑作物価格の決定について
 - 二、澱粉工場の操業状況について
 - 三、加工用馬鈴薯の買入規格の変更と選別について
 - 四、全道共進会の経過について

- 五、生乳の生産状況について
- 六、貯金者の研修旅行の実施について
- 七、海外酪農研修視察の終了報告について
- 八、その他

農連より懇談会の申し出について

○農協コミュニケーションルームについて

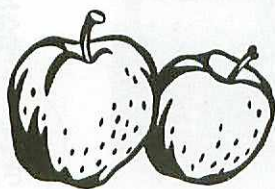
○生活店舗開店二十周年記念売出し結果について

○ビートパルプ、燃料情勢について

○役員研修会について

○北海道常例検査について

○自治監査実施日程について



地区別懇談会

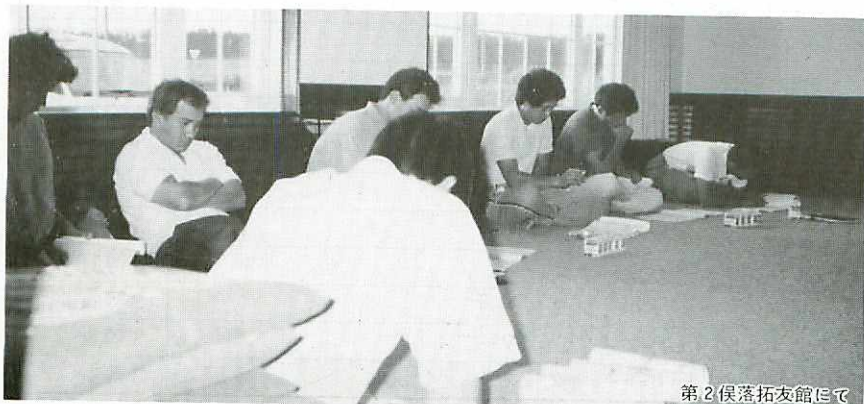
去る十月四日から六日までの三日間、七地区の地区別懇談会を開催致しました。

打ち続く天候不順で二番草、三番草の収穫調整が延び延びとなっておりましたが、懇談会当日は久々の収穫日和となり牧草、馬鈴薯の取り入れにトラクターのエンジンはフル回転、畑作地区については、夜の部と配慮しましたが、全地区の出席者総数は六十四人とどまりました。

各地区から多くの意見

今回の懇談会は、今年度の生乳計画生産が見直され生産枠が拡大されたことと、平成三年度の根室管内乳質向上自主規制の要領説明、及び共計澱粉の精算見直し、生産資材

の情勢等についてご報告申し上げました。
各地区から多くの建設的な意見をいただきましたが、このことについては第八回理事会に於いて協議されております。



第2候落拓友館にて

全国共進会のキップを獲得

川村尊之
さん

第十回、北海道総合畜産共進会（乳用牛）が、去る十月十二日から十四日まで、早来町北海道ホルスタイン共進会場において開催されました。

全道各地区より勝ち抜いてきた、ホルスタイン三六十頭が出品され、日本ホルスタイン登録協会審査員、門前道彦氏により審査されました。今年も、五年に一度開催される全日本ホルスタイン共進会が開催される年のため、出品者はもちろんの事、関係者もどの牛が、全日本ホルスタイン共進会へのキップを手に入れるか、真剣なまなざしで、審査を見つめていました。

中標津町農協からは、十六頭が出品し、十頭が入賞（入賞率六十二・五％）しました。特に川村さん出品のタイディ・ホープ・クリスチナ号が、一等賞二席になり、全日本ホルスタイン共進会への出品権を獲得致しました。

第九回全日本ホルスタイン共進会は、十一月二十二日より二十六日まで、熊本県菊池郡合志町熊本



県農業公園において開催され、根室管内からは、川村さんの他、標津町、大迫さん、中春別、山田さんが出品致します。

熊本県は北海道からかなり遠い場所での開催ですが、中標津、北海道を代表し、出品される川村さんに対しぜひ応援の程よろしくお願い致します。

全道共進会で10頭が入賞

第10回北海道総合畜産共進会成績表

部	出品者	名	号	成績
1	福井 稔	ハッピー イースト レディ	シャリーン	1等賞6席
1	藤井 美智夫	ウイステリア ローズ マリー	ハーフ	2等賞11席
2	川村 尊之	タイディ ホープ クリスチナ		1等賞2席
2	久保 剛	ヒンペル ファーム ミスティ	アリス	1等賞7席
2	国光 達男	カントリーライト エース	ミスティ	2等賞15席
2	福村 稔	シルバーレーク アンテシベーション	アタッシュ	3等賞
3	佐々木 昭雄	アースイースト イーグル	スター	2等賞2席
4	阿部 文雄	レスポワール ミスティ	クリスチナ	1等賞6席
4	田中 世一	ファースト ブライト エリー	マイク	3等賞
6	弾正原 正	マドキャップ スター	ユニーク	2等賞1席
6	久保 剛	ケーエフ イースト スター	ヒューズ	2等賞9席
6	松本 和正	ユニーク ハティ	バリエント	3等賞
7	松本 和正	エティ バター	カウンテス	3等賞
8	佐々木 昭雄	メリーラグ アップル	クリス	2等賞4席
10	吉川 敏郎	ムーシャイン エムバイ	フラワー	3等賞
10	横田 光彰	オークデール マリナー	クリスチーナ	3等賞



ジャッチング、写真コンテストで上位独占

全道ジュニアホルスタインクラブ酪農教室が、去る十月十三日、十四日、第十回北海道総合畜産共進会の中で開催されました。

中標津ジュニアホルスタインクラブからは、六十八人の代表として

雄武町、八雲町、豊富町、本別町、美瑛町より一三三人の参加がありました。

津町の代表牛を激励した後、全道から集まった会員と交流会を行いました。

十四日はいよいよジャッチングコンテスト、四頭の未經産牛を用いホル協審査員により取り進められ、審査講評では当クラブを代表して、林直樹君が講評しました。

コンテストの結果は、当クラブが上位を独占、一一人のうち二十点満点が二人、そのうち当クラブの青山智和君が入賞、一〇〇点中林誠司君、九十点佐藤友紀さん、佐々木尚洋君が入賞しました。また、一九九〇オールホッカイドウ

力強い将来の後継者

て十八人が参加、全道からは清水町、計根別、雄武町、八雲町、豊富町、本別町、美瑛町より一三三人の参加がありました。

津町の代表牛を激励した後、全道から集まった会員と交流会を行いました。

十四日はいよいよジャッチングコンテスト、四頭の未經産牛を用いホル協審査員により取り進められ、審査講評では当クラブを代表して、林直樹君が講評しました。

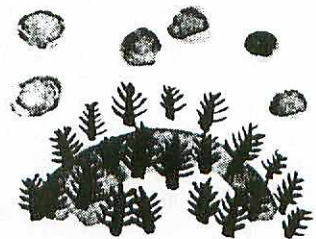
コンテストの結果は、当クラブが上位を独占、一一人のうち二十点満点が二人、そのうち当クラブの青山智和君が入賞、一〇〇点中林誠司君、九十点佐藤友紀さん、佐々木尚洋君が入賞しました。また、一九九〇オールホッカイドウ



ジュニア写真コンテストに於いては、当クラブより五頭出品、結果は次の通りです。一部銀賞、滝場光世さん、銅賞、長正路幸さん、二部金賞、日下尚也君、銀賞に安田正嗣君、佐々木尚洋君の牛が入賞し、春から夏へと行って来たスクールの成果が、充分に発揮されました。

今後はアメリカ、カナダの様にジュニアショーを行ったり、ホームステイを行なって、世界の子供達と交流をはかって行きたいものです。

北海道地方長期予報 1ヶ月予報



天気は周期的に変わり、暖かい日が多いでしょう。太平洋側を中心に雨が多いでしょう。初雪や根雪（長期積雪）の始まりは遅いでしょう。

旬別予報

十一月上旬 天気は周期的に変わり、暖かい日が多い見込みですが、寒気が入って冷え込む日もあり、気温の変化は大きいでしょう。

十一月中旬 天気は周期的に変わり暖かい日が多いでしょう。

十一月下旬 冬の気圧配置は長続きせず、暖かい日が多いでしょう。



十月二日、昨夜までの雨もやみ、武佐岳がすつきり見える中標津空港を十九人で出発しました。千歳経由で成田発十八時でアメリカ・サンフランシスコへ

力強さを感じる

視察研修旅行に参加して

団長 土井上 昭 男

向かい、同日十一時過ぎに全員が元気に着き、市内観光で気分と体を慣らしました。

二日目、三日目はアメリカ西部（カリフォルニア）の牧場と農場を視察しました。スリーピーホロー、オーシヤンビュー、ルーアンの各牧場を視察しましたが、我々が描く酪農とは桁外れの大規模経営を目前にし、アメリカの大きさと強さを感じました。

年間の雨量が三〇〇ミリ程のこの地方は、ロッキー山脈などの雪解け水などをダムで貯水して、生活用水、家畜、農作物、果樹などが潤っているとのことです。

三千頭の搾乳をしているルーアン牧場では、搾乳要員、分挽要員などと作業分担があり、まさにミルク工場である。このような大規模経営が可能なのは、雨量が少ない事、気温の変化が少ないことなどによって、簡素な施設で充分間に合う事、そして良質な飼料が自給出来る事、更に企業として常に利益を追求するドライな経営者である事、人件費が安いのも大きな要因であろう。自由化を前に闘争心を挫かれる思いである。

どこまでも続くハイウエー、縦横に正確な農道、トマト、わた、

アーモンド、ブドウ、ルーサンなどの畑がどこまでも続いている。やつと小高い丘が見え、裾野には十万頭の肉牛を飼うハリスランチ牧場が広がっていた。世界最大級のフイドロッドである。二十四時間体制での管理、まさに牛肉生産工場である。日本人向けの肉生産も試験中との事、カリフォルニアのスケールの大きさには只々驚くばかりである。西部から北東部への空路移動で、八時間もかかり本当に広い国である。

第五日目は、マディソンで開催された、ワールドデイリーエキスポ（セントラルシヨウ）を見学しました。前日にホルスタイン未経産の部は終わっていて、当日は経産牛、二歳級からの入場であった。八ミリカメラを覗きながら、自分は興奮気味である事に気づいた。背線、四肢、肋、腹、乳房そしてサイズとどの牛を見ても、さすが北米を代表する牛である。カメラ撮影に専念し、各部門の上位十頭程を、良

い角度から写すことが出来た。良く調教された牛、日本と同じように家族皆んなで手入れをし、デイリーエキスポのメイン行事にふさわしいショーであった。

第六日目、一行は皆元気である。今日も牧場視察である。クレセントミッド・ウエインドール・バインハーストの三牧場とも、乳代五十%、個体販売（受精卵も含む）五十%の経営であり、個体の説明にはおのずと力がある。ビジネスそのものである。カリフォルニアに比べると規模は小さいが、牛を大切に個体管理をしている。十歳を超えた牛も珍らしくない。いずれの牧場主も日本が牛を買ってくれると、自分達の経営が楽になるとの事。

第七日目のカナダも同じような形態である。ハイポイント牧場は、成牛二十八頭程度の小さな牧場で、先々代が建てた古い牛舎で、つつましく営んでいる牧場である。しかし、ホットな家庭を感じさせてくれる家族で

アメリカの

アメリカ・カナダ

10/2~10/15 14日間



あった。日本人のような慌ただしい生活など全く感じさせず、家庭生活優先なのである。きれいに刈り込まれた芝生、紅葉の楓、実に環境の整備された家庭である。そんな中でサベージデール牧場は、近代的な牛舎施設の大きな牧場であった。牛群もバインハースト牧場と同等レベルの素晴らしいものでした。クリストファの娘牛で素晴らしいのがいて、急に親近感を持たされた。

昨日、今日と視察の中で感じたことは、日本の酪農の技術改革、積極性、これらはすでにアメリカ、カナダを越えていると思ったのである。



第八日目、ユナイテッド人工授精所に優秀種牡牛、アストロジェットがいた。ガラス越しにしか見せてもらえなかったが、当授精所の看板牛である。

十月十日で視察は終りである。一路、ナイアガラの滝に向かい、雨の中のハイウェイをバスは走る。一行には少し疲れが出始めた。

第九日目、トロントからラスベ

ガスに空路で移動である。カゼ気味で早眠者が一人、他はカジノで楽しむ。儲けた人は二人？残りの人の損害額は？

第十日目、グランドキャニオン観光。またもアメリカのスケールの大きさを見せつけられた。

第十一日目、ロサルゼルス、それぞれが最後のお土産品を買って、デイズニールランドへ。若人はハードな乗物に挑戦、中年者はそれなりの乗物で遊ぶ。全日程中一番気楽な一日であった。翌日は札幌まで遠いのです。

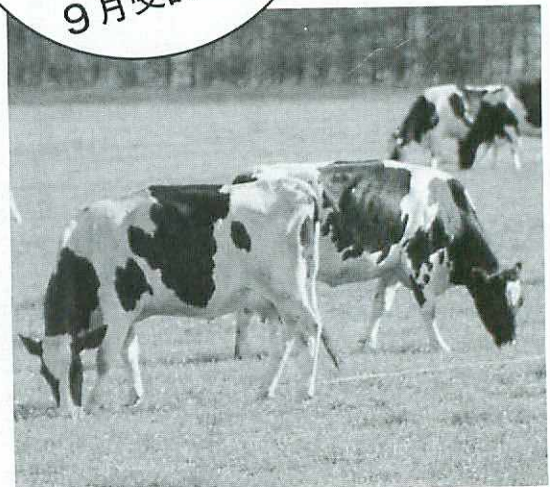
十月十五日の午後二時頃、全員元気に中標津空港に到着する。家族の出迎えを受けて、それぞれ帰宅。

今回の視察研修はトラブル的な事が全くなく、日程どおり行動がとれました。行程に多少課題がありました。次年度の参考にしたと思います。何かと早くから準備して下さいました農協職員の方々、そして留守番の家族の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

前年比〇・五%減

二十四万六九九トン

前年割れ
3か月連続
北海道
9月受託乳量



ホクレンの九月分の生乳受託数量は、二四万六九九トンで、前年同月に比べ〇・五%減と今月も前年を割った。これで前年割れは三か月連続。

この結果、上半期（四、九月）累計の受託乳量は、一五三万、一六二トンで、前年同期に比べ二・〇%増となっている。

ホクレン支所別受託受乳量実績、用途別販売数量の内訳は、下の表のとおりです。

4～9月の用途別販売数量

	数量(t)	前年比(%)
加工等	1,086,296	98.6
認定数量	960,038	97.5
チーズ向	126,258	108.9
飲用等	313,169	112.8
生クリーム等	132,101	106.3
合計	1,531,565	102.0

平成2年度9月分 支所別受託乳量実績表

(単位: kg, %)

支所	月 計			累 計		
	受託乳量	前年対比	構成比	受託乳量	前年対比	構成比
函館	7,999,194.6	100.1	3.3	51,908,465.4	102.4	3.4
倶知安	2,965,613.0	99.4	1.2	18,792,995.0	101.2	1.2
苫小牧	8,216,611.0	99.0	3.4	53,995,904.0	100.9	3.5
札幌	2,155,427.0	100.7	1.0	14,056,480.0	100.8	1.0
岩見沢	2,628,549.0	96.9	1.1	16,797,589.0	98.9	1.1
留萌	9,290,125.0	94.3	3.9	59,744,970.5	100.0	3.9
旭川	12,585,212.0	98.3	5.2	79,104,899.5	100.8	5.2
稚内	20,522,270.0	96.8	8.5	130,011,501.0	100.2	8.5
帯広	55,022,819.4	101.6	22.9	354,246,481.2	103.8	23.1
北見	37,172,105.0	100.4	15.4	236,091,860.0	102.0	15.4
釧路	33,646,587.7	98.4	14.0	214,873,384.8	101.4	14.0
中標津	48,494,852.0	100.0	20.1	301,537,284.0	102.1	19.7
合計	240,699,365.7	99.5	100.0	1,531,161,814.4	102.0	100.0



この夏、全国的な猛暑が続いて、牛、豚、鶏が死ぬなどの被害が報じられ、府県によっては、空梅雨の影響で飲用乳の消費が伸びた反面、生乳生産が減退し計画生産未達を心配されている。

平成元年度まで二年間続いた大幅な増産に比べると、平成二年度の生乳計画生産は前年比二・五%増と激しい引き締めの一スタートであったが、目標に届くのが難しい状況です。中標津町農協の本年度十月中旬までの生乳受託実績は、四万二千四十トンで前年比一・三%増。四、六月は前年比二、八%前後増えていたが、七、九月は一・七、二・九%の減。十月中旬前年比〇・一%増となった。

生乳の伸び悩みの原因としては①八月から九月の長雨で、牧草の刈り入れ、遅れによる牧草の質の低下、②七、八月の高温による牛の体力低下、採食量の低下、③計画生産の引き締め、④乳質の改善(体細胞)以上の四点が考えられる。根室管内九農協の、本年度十月中旬までの生乳受託実績は、三十三万二千九百五十四トンで前年比二・〇%増、目標達成も難しい農協も生じることから、今年度の生乳生産量は中標津町農協の実績乳量として、平成三年度の生産目標乳量に配分されることから、増産に励んでいただきたい。今後の乳量増対策として、計画生産による乳量調整のため減らしていた配合飼料の給与量、ビートパルプなど栄養価の高い飼料の給与、牛の若返りを図り乳量、質とも上げる方法が考えられる。

昭和五十四年度から始まった生乳の計画生産は、十年目の節目を迎えたが、過去の計画生産の目的は国内の需給均衡を図るための、試行錯誤であったことをご理解願いたい。

平成2年度10月 生乳受託実績表速報

農協名	年間目標数量 (暫定)	上旬		中旬		下旬		月計		累計		進捗率
		乳量	前年比	乳量	前年比	乳量	前年比	乳量	前年比	乳量	前年比	
標津町	57,288,000.0	1,613,780.0	99.1%	1,567,290.0	99.1%			3,181,070.0	99.1%	33,762,330.0	101.1%	58.9%
中標津町	73,506,000.0	1,999,883.0	98.7%	1,975,546.0	100.1%			3,975,429.0	99.4%	42,040,301.0	101.3%	57.2%
計根別	65,393,000.0	1,803,695.0	102.1%	1,813,547.0	103.0%			3,617,242.0	102.6%	37,249,091.0	102.9%	57.0%
西春別	78,470,000.0	2,175,072.0	100.5%	2,136,484.0	101.0%			4,311,556.0	100.8%	45,973,185.0	102.0%	58.6%
上春別	40,219,000.0	1,113,368.0	101.0%	1,105,018.0	102.8%			2,219,386.0	101.9%	23,860,269.0	105.0%	59.3%
別海	126,980,000.0	3,513,142.0	100.4%	3,434,693.0	100.9%			6,947,835.0	100.7%	74,584,633.0	102.8%	58.7%
中春別	83,752,000.0	2,276,320.0	99.7%	2,246,440.0	100.5%			4,522,760.0	100.1%	47,687,188.0	99.8%	56.9%
根室	44,888,000.0	1,250,466.0	104.5%	1,220,000.0	105.0%			2,470,466.0	104.7%	26,036,801.0	102.5%	58.0%
羅白町	2,916,000.0	87,280.0	96.3%	84,090.0	96.7%			171,370.0	96.5%	1,760,600.0	99.8%	60.4%
合計	573,412,000.0	15,833,006.0	100.5%	15,584,108.0	101.2%	0.0		31,417,114.0	100.9%	332,954,398.0	102.0%	58.1%

平成2年度 生乳計画生産達成乳量

項目 農協	生産実績乳量		平成2年度 生産目標	10月下 3月 生産達成乳量		生産達成 前年対比
	4月	10月中		10月下	3月	
標津町	33,762.3		57,288.0	23,525.7	22,775.6	103.3
中標津町	42,040.3		73,506.0	31,465.7	30,312.8	103.8
計根別	37,249.1		65,393.0	28,143.9	26,688.3	105.5
上春別	23,860.3		40,219.0	16,358.7	16,573.6	98.7
西春別	45,973.2		78,470.0	32,496.8	30,399.9	106.9
中春別	47,687.2		83,752.0	36,064.8	33,715.6	107.0
別海	74,584.6		126,980.0	52,395.4	51,226.7	102.3
根室	26,036.8		44,888.0	18,851.2	17,253.9	109.3
羅白町	1,760.6		2,916.0	1,155.4	1,094.9	105.5
合計	332,954.4		573,412.0	240,457.6	230,041.3	104.5



米市場開放阻止運動に 確信を持って!

輸出補助競争こそ 解決されるべき問題

「ガット・ウルグアイ・ラウンドの成功はわが国の米市場の開放にかかっている」という声も聞かれますが、これはラウンド交渉の実態や問題点をまったく無視した議論です。

現在の農業交渉を相撲に例えるなら、農産物輸出国の両横綱であるアメリカとECが、農業交渉の最も重大な問題である輸出補助金の問題をめぐる、がっぷり四つに組み合い、勝負のめどがつかない状況にあります。ところが、このような時期にわが国では「米市場の開放止むなし」の声が出てきていますが、これは輸出国同士の勝負中に、食料輸入国の横綱である日本だけが白旗をかかげるようなもので、これでは闘いにもならず、行事役も軍配のあげようがありません。

「ガット」農業交渉が始められた最も重要な背景は、アメリカやECなどの農産物輸出国が、世界の需要の伸び悩みの中で、生産調整をうまく進められず、過剰在庫を処理するため輸出補助金を使いすぎて、財政負担が増大したことにあるのです。この輸出補助競争の

米を突出させるのは アメリカの戦略

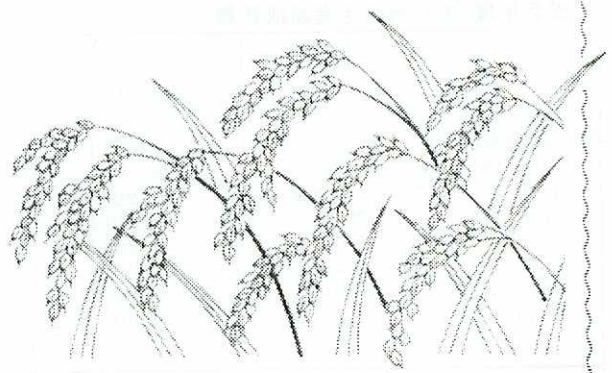
それに、農業だけがウルグアイ・ラウンドの困難な課題ではありません。繊維の交渉や、金融・保険・海運などのサービス貿易の交渉分野では、農業では自由貿易を主張するアメリカなどの先進国が自国の産業を守るために保護主義に傾き、交渉は大幅に遅れて、各国間の利害が複雑に対立しているのです。

それだけに、特にアメリカ政府は、わが国に米で先に譲歩させ、これをテコにしてEC側を譲らせ、農業交渉を前進させることによつて、他の交渉分野の交渉も促進させようとしているのです。このように日本の米問題を突出させようとするアメリカ政府の戦略の陰には、わが国のような食料の輸入国

問題を輸出国間では解決できず、「貿易の自由な流れを妨害している」のは各国の農業保護政策にある」とし、食料の輸入国も巻き込んで始められたのが農業交渉の現実なのです。

の犠牲を突破口にして困難な農業交渉を「成功」させ、かつ他の交渉分野の困難な問題をおおい隠そうという狙いがあるのです。このようなアメリカ側の戦略を支援するグループがわが国でも動きだしていますが、これでは農産物輸入国の横綱である日本政府の交渉力が弱められるだけです。

わが国政府は「各国国民の生活にとつて欠かすことのできない重要な基礎的食料については、輸入制限ができるよう、ガットは新たなルールを明確につくるべきだ」と提案しました。しかも基礎的食料については、過剰の場合に輸出へまわして国際市場を混乱させることはしないと、その範囲を限定しているのです。



この提案には、食料安保を重視する観点から、米や地域にとって重要な農産物については、最低限の生産基盤を確保したいという狙いがあります。さらに、食料の輸出禁止を基本的に認めているなど、もともと輸出国に有利にできていたガット協定を輸入国にとつても平等なものへ改善し、世界各国の農業が共存できるような方向を追求しようとしているのです。スイスや北欧諸国、韓国などの輸入国が日本提案に強い関心を示しているのも、このためなのです。



求められる徹底した ねばり強い全国運動

ガット農業交渉では、十月一日までに各国の農業保護政策に関する基礎的な情報を記した「国別リスト」が提出され、また十月十五日までに自主的な保護の削減計画（オプファースト）が出されて、その後本格的な交渉が始められようとしています。しかし、保護の削減だけが優先され、ガット・ルールの改善の議論がないがしろにされては、輸入国の農業は生き残るがますます困難になります。そのため、日本政府は保護の削減とルールの改正を一体的に進めるべきだと強く主張しているのです。このような主張こそ公正に議論されるべきなのです。

いよいよ正念場の交渉に入っていきます。しかし、世界最大の食料の純輸入国として、農産物貿易の安定的な拡大に十分過ぎるほどの貢献をしてきたわが国が、最低限の食料安保を確保しようとする提案を主張するのは当然なのです。我々の主張に確信をもち、最後まで徹底したねばり強い運動を全国的に盛り上げていくことが、いま強く求められているのです。

（次号に続く）

暮らしの

知恵袋

北根室地区
農業改良普及所

じゃが芋の
美味しい季節に
なりました。今年の
じゃが芋は、デンプン
含量も多く特に美味し
そうです。

原産地は、中南米・

ペルー・ボリビアあたりのアンデ
ス山脈の高原といわれ、インカ帝
国を滅ぼしたスペイン人がヨーロ
ッパに伝えたと言われています。

日本には、十七世紀の初めにオ
ランダ人が、観賞用にジャワのジ
ヤカルタ産のものを持ち込んだの
で、「ジャカラタイモ」じゃが芋の
名がついたようです。また、イモの
形が「馬につける鈴に似ていた」
ので馬鈴薯とも呼ばれる様になっ
たとか。

じゃが芋が食用として普及した
のは、天明と天保(徳川家治時代)

の凶作以降のことです。

天候不順や災害にも比較的強く
栄養的にも優れ、二つの大飢饉も



畑から来た救世主は
じゃがいも

救い実証したからだそうです。二
度の世界大戦では、数百万人の命
を救ったといわれ、世界的にも重
要視される作物になりました。

英語ではポテトですが、フラン
ス語では「ポム・ド・テール」「大地
のりんご」という意味で、他のい
も類に比べ低カロリーでアルカリ
性食品、ビタミンB・Cはりんご
よりも多いのです。また、ビタミ
ンCは、熱を加えても失われにく
い、すばらしい食品です。

じゃが芋は、二つの顔を持って

います。一つは、穀類に近いエネ
ルギー食品としての顔です。豊富
なデンプン質(炭水化物)は、体
内で燃焼し運動エネルギーや熱エ
ネルギーになります。じゃが芋栄
養の九十%は、デンプン質で占め
られているため、米や麦に代って
主食に利用される場合があるわけ
です。

もう一つの顔は、野菜、果物と
同様のビタミン供給食品としての
顔です。特にビタミンCは、一〇
〇g中二十三mgでトマト二十mg、
きゅうり十三mg、レタス六mgより
ずっと豊富です。

ビタミンCは、調理によって壊
れやすい栄養素ですが、じゃが芋
の場合は加熱中にデンプンが糊化
して、その流出を防ぐため残存率
が七十四%と極めて高いのです。
また、糖質の鉄分やカリウムも豊
富に含まれています。しかも、他の
野菜に比べ長期間保存しても栄養
損失が少ないのが、じゃが芋の大
きな特徴です。食物繊維も多く、
腸の健康にもひと役かっています。

じゃが芋は、主食として利用さ
れることは先に述べました。少量

で大きなパワーを発揮する脂肪や
タンパク質と違い、デンプン質は
効率の悪いエネルギー源であるた
め、おなか一杯食べても必要量を
とることができません。

最近、ちよつと気になるなど感
じている方は、ダイエット食品と
してじゃが芋を使ってみてはいか
がでしょうか。

もつとじゃが芋を食べましょう。



期待に応える乳牛の生産を

府県消流地の視察研修

篠 永 栄

乳牛改良同志会第六回府県消流地視察研修を、九月二十三日より会員八人で、群馬県吾妻郡に行つて参りました。この地域は、長野県寄りで通称、北軽と呼ばれており、標高約千メートル。

野菜、酪農の他、リゾート地が主体で、白樺、カラ松などが生息し北海道と同じような気候でありました。

乳牛購買では、お世話になつてゐる山崎畜産の山崎さん、開業受精師の小柴さんのご好意で四戸の酪農家を視察させて頂きました。

清水牧場 二年前、ご主人を亡くして現在奥さんが中心で経営をされています。搾乳牛二十頭位で平均八千キロと高く、能力、体型とも揃っています。平成二年度体番により、九十点を獲得。孀恋村ただ一頭のEX牛であり他に八十九点があり、次回にはEXをねらえます。また、奥さんはご主人の

意志を受け継ぎ、乳検、体番、共進会、餌作りと非常に熱心な方で今年の吾妻群共進会でグラランドチヤンピオンに輝きました。育成は労力、面積、発育状況などから日高新冠町町営牧場に十二か月から預託して分婉近くに引取る方法をとっておりますが、この地域でも希望が多く頭数の割当をしている様です。後継牛に寄せる期待は大きく、導入牛の使用種雄牛、授精に共用する種雄牛は非常に慎重です。中標津町農協より導入は、横田さん、久我さんでしたが、最近では彈正原さんと、母クリスタンにナイトの娘がおり、ETを実施して期待をかけている様です。

川島牧場 五年前、乳牛の事故が多発し離農まで考えたが、関係機関の協力により現在は三十九頭搾乳で、平均一万キロ近い高乳量牧場になりました。十六頭が一万キロ以上突破牛で、三百九十トン

の出荷乳量で平均二〜三産が多く最高令は七産でした。飼料は、コンプリートで添加剤合わせて十二種類使用、ふんだんに食わせていました。F平均三・八%SNF八・五六%と高いです。フリーストールにしてからは、事故も少なく乳量も増し、順調に経営ができています。導入牛は、中標津、鶴居村農協が多く今年も久保さんの日〜二四三を導入、予想乳量九千キロ見込めるそうです。非常に牛館の状態が良かったです。

石田牧場 完全な一腹搾りで肥育し売却、出荷乳量四百トン、搾乳牛約六十頭。導入牛は全頭中標津町農協で、年平均四十頭、多い年は全頭入れ替える年もあるそうです。乳の出る牛は二年くらい搾り、搾乳はご主人が一人でユニット八台つかいます。驚きでした。牛群は全体的に資質が良く、導入牛の中にはシヨートに使える様な牛も数頭見られました。肉価の低落で、今後の事を考えている様です。

小金沢牧場 先の清水牧場と並んで当地方ではトップクラスの牛群を揃えた牧場で、全頭自家産で

す。三十二頭平均八千五百キロ、一万キロ以上六頭、千ポンド一頭、出荷二百十トン、F平均三・八%牛舎の環境、牛の状態が非常に良く、改良のため輸入精液を百パーセント使用してました。孫になると成果があると語ってくれました。各戸とも畑地は五ヘクタール前後で、コーンを作り飼料は多く食わせていました。乳価は百円前後で季節によって変わる様です。一腹搾り以外は育成牛がおり、良い牛の子孫が欲しいということでしょう。この二つの事を考え合わせると購買牛については、普通程度と改良に期待できる牛とに分れるのではないかと思います。いずれにしても、皆さんが期待する牛を生産していかねばならないと思えます。この事業が長く続き、多くの会員が参加できる事を願っております。

最後になりましたが、この事業の協力を頂いた農協、乳牛改良同志会、そして今回参加された皆さんの協力で、無事研修を終える事ができました。感謝の念で一杯です。ありがとうございました。

おかげさまで開店20周年



大当りのもち、こっちにちょうだい

今月の

信頼と新鮮と

真心込めた3日間

10月
10・11・12日

ア オ ト



店長賞、電子レンジが当りました

A コープ中標津店では、開店二十周年を迎えての大感謝祭が行なわれました。オープニングのもちまきには、組合長賞のカラーテレビを目指し、千人近いお客様が押し寄せての大盛況。中には、もちの取り合いで大人に押され泣き出す子供の姿も……。

長年のご愛顧に感謝しての三日間でしたが、今後共A コープ中標津店をご利用いただけますようお願い申し上げます。



坂口係長による製造行程説明

根室市庁長 澱粉工場視察

10月24日

根室支庁より藤原支庁長、山本部長、普及所から雨野所長他四人が農協澱粉工場を視察されました。工場事務所での懇談の席上で、今年度の畑作物の作況、澱粉工場の運営などについて、児玉組合長、懇談終了後、阪口工場係長の案内で工場内を視察し、馬鈴しよでん粉の製造工程の説明を興味深くうなずいておりました。

視察は約一時間で終了し、夕刻帰路につきましました。

市場開放阻止運動に対する地区対応として農協青年部では、ロールバックを利用したメッセージ活動を、俵橋十二線の国道ぞいに設置、白いロールバックに赤字で「自由化阻止」アピール度は最高です。

ガット
ウルグアイラウンド
の年末決着に
向けて

10月26日

守れよ!!
安全性と国内自給





新鮮野菜

美味しい漬物に挑戦!!

10月24日

Aコープ
青空野菜市

リヤカーも大活躍

ア
ス
レ
ム

恒例行事となっておりますAコープ越冬用、漬物用野菜の大量出しが行なわれ、駐車場には



大根、キャベツ、ハクサイ、馬鈴薯が山積み、また、この日を持ちかねたお客さんも多数訪れ青天に恵まれた忙しい一日となりました。

実習生交流バス旅行

10月25日

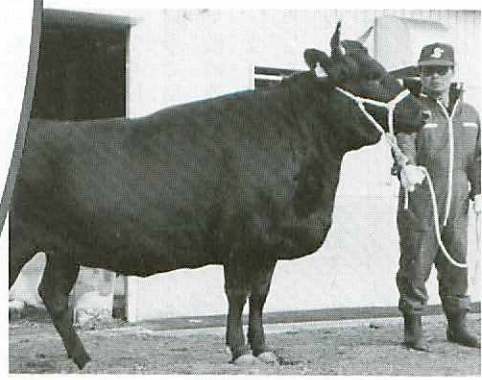


少人数でも楽しかった1日

10月26日

第十八回根室管内肉牛共進会がホクレン根室地区家畜市場で開催され、肉専用種並びにF1の部七十三頭出品の中から「なかしべつF1九二十号」がみごと一等賞一席に輝きました。また、乳用経産肥育牛の部においても九十七頭出品の中から一等二席が入賞するなど肥育技術の向上が評価された一日となりました。

なかしべつF1、一等賞一席



この牛食べたらいいでしょうネ!

大規模酪農の戦力として活躍している実習生、今年は人数が少なく八人のうち五人の、ちょっとちびしいバス旅行となりましたが、当日は、天候もまずまずで、北方領土を目前に見つめ、納沙布岬、車石野付半島と、府県にはない北海道の自然に触れ、お互いの交流を深めておりました。これから北海道の冬を体験する訳ですが、身体に気を付け元氣にがんばって下さい。

目標額達成、大きな協同の力

こんにちは、
農協の一日貯金です。

10月16・17日

貯金箱を開けると一円、五円、十円がザックザク、数え終わると「エーこんなにあつたんですか」とびつくり、小さなお金も一年間溜めると、けっこうな金額になるものです。

今年も組合員皆様の家庭を訪問し、一日貯金を無事終了することができました。集金総額は、目標の一億円をはるかに超える一億四

千九百万円となりました。皆様のご協力大変ありがとうございました。



10月の組合日誌

- 1日 第4回営農委員会
- 4日～6日 地区別懇談会
- 10日～12日 Aコープ中標津創業20周年特別大売出し
- 16日～17日 1日皆貯金
- 23日 第8回理事会
- 23日 秋野菜売出し(組合員向け)
- 24日 " (一般向け)
- 26日 馬鈴しょ振興会役員会
- 29日 定例自治監査
- 31日 第3回酪農委員会

牛に背番号を!! 絡印器の貸出し

乳牛の飼養頭数も多くなり、飼養管理の合理化を図るため、最近では牛に耳標やネック番号を付ける酪農家の方が増えました。

しかし、こういうものは紛失することが多く、何番だったか判らなくなってしまうものです。また、最近ではフリーストールで、パーラーで搾乳といった場合、番号が見えにくい場合もあります。そこで家畜改良課では、精液保存用の液体窒素で黒毛を白くする絡印器を購入しましたので、希望される方はご利用ください。当分の間は、液体窒素付を無料で貸出し致します。

編集後記

紅葉のシーズンも終わりを迎え、農家の庭先などでダイコンを干す姿が目につくようになりました。長雨により収穫作業が遅れていますが、冬仕度は大丈夫ですか？もうすぐ寒い雪ん子たちが遊びに来ますよ。

冬に近づくと流行するのが風邪ですが、今年は、変な病気が流行しているとか、「ウイルス性結膜炎」といい、町内の小、中学校生徒が、目が充血してかゆみを訴え学級閉鎖や、学校閉鎖になっているようです。

この病気は、発病して三日程度で治ると言われていますが、伝染力が強く大人にも感染するそうです。みなさんも十分気を付けて下さい。

今月号で私の第二号目となりますが毎日失敗の連続、写真を撮ればピンとボケ、文を書けば字の間違い、まったく困ったことです。でも、ことわざに「失敗は成功のもと」失敗をかさねても、がんばっていればそのうち必ず成功するさ、のこことわざを信じて、とはいつても何となく、失敗をした自分自身への「なぐさめ」という感じかな。